

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療保険実態調査費		担当部局庁	保険局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	—		担当課室	調査課		村山 令二		
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国民健康保険法第106条、 高齢者の医療の確保に関する法律第16条及び 第134条 他		関係する計画、 通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各制度の実態調査報告書の作成・公表のため。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療保険制度を円滑に運営するため、各制度の年齢構成や保険料賦課状況等を把握し、実態調査報告書についてとりまとめ公表する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	8.2	6.2	4.5	3.9	3.6	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	8.2	6.2	4.5	3.9	3.6	
	執行額	8.7	5.0	3.0				
執行率(%)	71%	90%	75%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	健康保険・船員保険被保険者実態調査、国民健康保険実態調査、後期高齢者医療被保険者実態調査及び医療給付実態調査をとりまとめ公表		成果実績	4	4	4	4	4
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	健康保険・船員保険被保険者実態調査、国民健康保険実態調査、後期高齢者医療被保険者実態調査及び医療給付実態調査をとりまとめ公表		活動実績	4	4	4	4	—
			(当初見込み)		100	100	( — )	( — )
単位当たりコスト	850,000(円/種類)		算出根拠	X(執行額 3,400,000円) / Y(4種類)				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	印刷製本費	2.2	2.1	作成部数、単価の見直し等による減				
	雑役務費	1.7	1.4					
計	3.9	3.6						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	少額調達であるため。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・健康保険・船員保険被保険者実態調査          ・国民健康保険実態調査          ・後期高齢者医療被保険者実態調査          ・医療給付実態調査          等について公表し、各制度の運営及び制度改正等の資料としてきた。          今後も、精度の高い調査・分析を行い、各制度の運営及び制度改正等の資料として活用していく必要があることから、当該事業における経費は必要である。</p> <p>これまで各種報告書等の配布先、配布部数を見直し、作成部数を減じて費用の精査を行っており、引き続き精査したい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	平成23年度予算において執行状況を踏まえた見直しを行っているが、引き続き効率化に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
実績を踏まえ、印刷部数、単価の見直し等を行った。(反映額: ▲0.3百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

厚生労働省

【随意契約】

A.宮嶋印刷  
0.5百万円

・国民健康保険実態調査実施要領・調査票  
・健康保険被保険者実態調査実施要領・調査票の印刷業務

【随意契約】

B.日比谷情報サービス  
0.1百万円

・国保実態調査、世帯票等のデータ入力業務

【随意契約】

C.システム・アナライズ  
0.8百万円

健康保険被保険者実態調査調査票データ入力業務

【随意契約】

D.大和総合印刷  
1.3百万円

・医療給付実態調査報告書  
・国民健康保険実態調査報告書等の印刷業務

【随意契約】

E.協新流通デベロッパー  
0.2百万円

・健康保険被保険者実態調査の調査票等の封入封緘・発送業務  
・国民健康保険実態調査の調査票等の封入封緘

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.大和綜合印刷			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	医療給付実態調査報告書	0.5			
印刷製本費	国民健康保険実態調査報告書	0.4			
印刷製本費	後期高齢者被保険者実態調査報告書	0.2			
印刷製本費	健康保険被保険者実態調査報告書	0.2			
計		1.3	計		0

支出先上位10者リスト

A.宮嶋印刷

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮嶋印刷	健康保険被保険者実態調査実施要領・調査票の印刷	0.3	随意契約	
2	宮嶋印刷	国民健康保険実態調査実施要領・調査票の印刷	0.2	随意契約	

B.日比谷情報サービス

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日比谷情報サービス	国保実態調査、世帯票等のデータ入力業務	0.1	随意契約	

C.システム・アナライズ社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	システム・アナライズ社	健康保険被保険者実態調査調査票データ入力業務	0.8	随意契約	

D.大和綜合印刷

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和綜合印刷	医療給付実態調査報告書の印刷	0.5	随意契約	
2	大和綜合印刷	国民健康保険実態調査報告書の印刷	0.4	随意契約	
3	大和綜合印刷	後期高齢者被保険者実態調査報告書の印刷	0.2	随意契約	
4	大和綜合印刷	健康保険被保険者実態調査報告書の印刷	0.2	随意契約	

E.協新流通デペロッパー

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	協新流通デペロッパー	健康保険被保険者実態調査の調査票等の封入封緘・発送業務	0.1	随意契約	
2	協新流通デペロッパー	国民健康保険実態調査の調査票等の封入封緘・発送業務	0.1	随意契約	